

研修名	災害・事故時のこころのケア対策事業関係職員研修 「北九州市の防災と災害支援の心がまえ」
講師	○「北九州市の防災について」 北九州市危機管理室危機管理課より説明 ○「災害時の心理的支援～サイコロジカル・ファーストエイドについて～」 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 行動医学研究部 研究員 大沼 麻実 氏
開催日時	令和元年8月19日（月）13：30～17：00
開催場所	北九州市総合保健福祉センター（アシスト21） 2階講堂
参加者数	43名（内訳：北九州市役所職員、医療機関・相談機関等の職員など）
研修の内容等	<p>市職員や被災者の支援に携わる可能性がある医療機関・相談機関等の職員を対象に、北九州市の防災体制や防災に関する知識、また災害時のこころのケアについての知識・対応等を学び、相談支援技能を高めることを目的として研修を実施した。研修では、グループディスカッションも行いながら、サイコロジカル・ファーストエイドの基本的な考え方、活動原則、被災者のこころのケアだけでなく、支援者自身や同僚へのこころのケア等について学んだ。</p> 
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の支援の在り方は、より深いコミュニケーション能力が必要だと感じた。 ・災害・事故発生時の避難に関してだけでなく、避難後のこころのケアも今日の研修を参考に考えていきたいと思う。 ・防災について、事前準備の必要性や施設利用者の安全確保等、色々な事を考える機会になった。 ・PFAは災害時の支援活動する上で大変勉強になった。日々の業務でも役に立つ内容だった。 ・防災について、事前準備の必要性や施設利用者の安全確保等、色々な事を考える機会になった。 ・当事者に対する視点だけでなく、支援者自身のセルフケアの必要性が非常に印象に残った。